

我南小発 第17号

令和6年6月28日

我孫子市教育委員会 へ

我孫子市立布佐南小学校学校運営協議会  
会長 志垣 健二郎

令和6年度 第2回学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員名 佐々木祐子, 大野将史, 志垣健二郎, 吉岡朋久, 駒場アサ子, 櫻井實

記録者 氏名 大野将史

(令和6年 6月25日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
※授業参観後、協議会		
1. 会長あいさつ	会長	○本日は様々な場面を見たと思うので、忌憚のない意見をいただきたい。
2. 校長あいさつ	校長	○今年度、南小でははじめての学校運営協議会となる。今後の活動について、今年目指す形について、協議したい。
3. 教育課程の説明	教頭	○1学期の学校行事についてスライドを用いて説明 ○2学期の学校行事予定についてスライドを用いて説明
4. 協議等		
①授業の感想	委員	○何十年ぶりに学校での学習の様子を見学した。特別支援学級と通常学級の行き来に感動した。学校ではきめ細かい指導がされている。
	校長	○若手にも特別支援学級の経験をさせている。特別支援について専門性を持っている職員がたくさんいる。一人一人の多様性に合う学びの保証をしている。
	委員	○特別支援の充実している様子がみられた。通常学級の児童への指導が行き届いている。教室から出て学ぶこ

		とが当たり前で、出る時も戻ってくるときも当たり前 に全体が受け入れている様子だった。
②今後の地域学校協働 活動について	校長	○「笑顔と活気」「やってみよう」を合言葉にして、そ こに向けて子どもたちがチャレンジできるように、各 職員の意識を方向付けていきたい。
		○小中一貫、コミュニティ・スクールについて、資料を もとに説明。目的は、「南っ子の笑顔と活気」。そのた めに、小中を一貫させる。そのために、地域と協力す る。そこをぶれずに貫きたい。南小の教育課程を着実 に実行することが一番大切である。
	委員	○校長は朝、登校した児童に暖かい声掛けを行って いる。校長の思いが子どもたちに伝わっている。
		○教員は力をつけていくために研修をしていくことが必 要。教員の研修時間や、子どもたちのための時間を作 るためにコミュニティ・スクールは存在している。で きることは応援します。
	校長	○地域に頼っていききたい部分はあるのでお願いしたい。
	会長	○地域と学校で子どもについて見えている部分が違うと ころがある。学校にも、地域からの情報が必要とな る。もっと学校は地域を利用してほしい。
	校長	○学校の活動の手助けを地域にお願いしたいことと、地 域の活動に子どもたちの参加を呼び掛けるものがあ る。学校での活動は教育課程の中に含まれるものとな るので、整理していきたい。
	会長	○吹奏楽部の発表の場を作ることなど、やっていきたい 活動はある。
校長	○活動について、投げかけていただければ実現可能か、 教育課程の中に組み込んでいける活動か相談するこ とができるので、やってみたいことが出てきたら、教え	

